

## 編集後記

多くの方から寄稿いただき、本誌第3号を発行することができました。まさに時を得た、今後が期待される研究ばかりと、自負しております。多くの方に読んでもらえるようにと、執筆者には読みやすさを心掛けていただきました。

実は、発行直前に編集会議のために地域社会研究センターの運営委員を招集し、遅ればせながら今後の編集方針を決めることになりました。その中でいろいろな問題提議がされ、今後の雑誌の在り方についても話し合いましたので、少しそのことにも触れておきたいと思います。

まず、対象とする読者層についてですが、現在、別府大学地域社会研究センターのニューズレターの読み手になって下さっている方々を念頭に置いております。いわゆる各分野の研究者ではなく、広く一般向けにこの雑誌を作りたいという思いが運営委員の一致した考えです。次に、書かれたものについて、「論文か活動報告か」という区別についての問題が出ました。雑誌によっては区別のあるものもありますが、現在のところ明確な区別法は無く、区別する意味も特に見つからないという見解の下、編集段階での区別はしないということになりました。

最後に、本当は編集委員の仕事なのかもしれませんが、掲載順についてもいろいろなご意見をいただきました。恥ずかしながら初めての取り組みなので、組合せや読みやすさや流れなど（他にもいろいろな要素）を考えれば考えるほど、迷い悩みました。結果、全体の流れとして読みやすいであろうという掲載順にしたつもりです。このような作業を通じて、地域、観光、情報、行政の間が、より密接な関係になりつつあることが強く感じられました。将来は、地域社会研究のことならまず本誌から・・・と言われるよう、今後も努力する所存です。

皆様のご批判・ご意見をお待ちいたします。

了